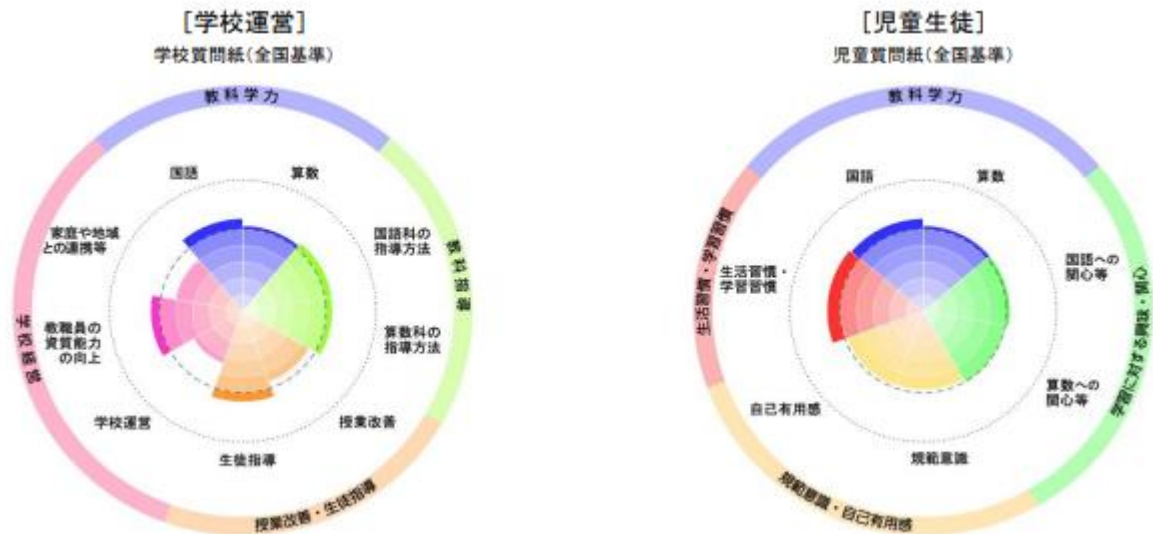


<令和5年度 全国学力・学習状況調査結果分析>



正答率	国語 (%)	算数 (%)
北山田小 6年	71	64
神奈川県 (公立)	66	63
全国 (公立)	67.2	62.5

【成果】

国語：知識・技能では、話し言葉と書き言葉の違いや言葉の働きをよく理解している。思考・判断・表現では、文章構成を捉えたり、叙述をもとに登場人物の気持ちを捉えたりする力がある。特に、書く力が全国・神奈川県ともにより大きく上回っている。

算数：算数は全国平均よりもおおむね正答率が高く、思考・判断・表現を問う問題の解く力が身についている。特に図形や変化と関係の問題は全国・神奈川県ともにより上回っている。

【課題】

国語：特に漢字や話すこと・聞くことが全国・神奈川県の平均よりも正答率が低く、無回答が他の問題よりも低いことから児童に苦手だと感じている。

算数：特に図形や思考・判断・表現の問題の正答率低い。無回答が記述式の問題の時に多く、考えを表現することが苦手だと感じている。

【今後に向けて】

国語は、書く力を身に付けるために、手本となる文章を用意し、文章の型を活用できるようにするなどの支援を行い、自分の気持ちや要約を書き表す回数を重ねていく。また、自分の考えを伝える場面をペア学習やグループ学習などで取り入れる。

算数では、図形の学習をより丁寧に見取り指導していく。また、国語と同様に考えを表現したり、解き方を説明できるようなペアやグループで話し合う場面を取り入れていく。